



届く言葉とは何か

―文字と映像―

2025/6/22(日) 14:00-16:00(開場13:30)
参加費/無料 定員/130人(先着順)
会場/市民交流センター(えんぱーく)3階 多目的ホール

「頭で理解できる言葉と身体に届く言葉は違う。理解できた言葉を私たちはすぐ忘れてしまう。自分に理解できる程度のことなのだから、別に記憶しておく必要もないと思うのかも知れない。でも、理解できないけれども胸に響く言葉というものがあって、それはずっと身体にとどまる。その違いはどこにあるのか。」

📄 申し込み

申込開始：5月16日(金)

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、
メールのいずれか。メールの場合は右記の内容を
お送りください。

宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「6/22 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ

内田 樹(うちだ たつる) 凱風館館長・神戸女学院大学名誉教授

1950年東京都生まれ。神戸女学院大学名誉教授、神戸市で武道と哲学研究のための学塾「凱風館」を主宰、合気道凱風館師範(合気道七段)。東京大学文学部仏文科卒業。東京都立大学人文科学研究科博士課程中退。専門は20世紀フランス文学・哲学、武道論、教育論など。主著に『ためらいの倫理学』、『レヴィナスと愛の現象学』、『寝ながら学べる構造主義』、『先生はえらい』『武道的思考』など。

『私家版・ユダヤ文化論』で第六回小林秀雄賞、『日本辺境論』で2010年度新書大賞、第三回伊丹十三賞を受賞。

近著に『勇氣論』、『図書館にはひとがいないほうがいい』『動乱期を生きる』(山崎雅弘との共著)など。

【問い合わせ】塩尻市立図書館本館 Tel 0263-53-3365 (水曜日・5月26日(月)休館)